

認知症作業療法 活動報告（概要）

愛媛県作業療法士会では、県内各市町や関係団体からの依頼を受け、認知症サポーター養成講座や認知症に関する啓発活動を行っている。認知症に関する啓発活動では、会員による劇や認知症バランサーによる認知機能の診断や相談などを行い、県民の認知症に関する啓発活動を行っている。また、作業療法士会員に対してのアップデート研修も継続して行っている。

認知症サポーター養成講座事業

県内の市の保健師と共同で認知症サポーター養成講座を開催した。施設の家族会や一般市民12名が参加し、サポーター養成講座の基本的部分に加えて、作業療法士の視点を生かした講座を行えた。



認知症アップデート研修事業

昨年度は県の中央部で開催したことにより、県南部の地域での開催を検討し、作業療法士を中心27名、他職種4名の参加も得ながら、認知症に関する基礎知識を中心に座学での研修会を実施した。



認知症啓発活動事業

県内の社会福祉協議会が主催する福祉の集いなどに参加し、認知症バランサーを活用して認知機能の診断と、認知症に関するお悩み相談を行った。会場の都合により、主会場から離れた場所で行ったため、参加者は少なく7名であった。作業療法の啓発活動が不十分であることを再認識した。



地域づくり事業

県西部では地域からの依頼に基づき、認知症にやさしい地域づくりのお手伝いをさせて頂いている。認知症の症状について、劇を交えながらわかりやすく伝えたり、認知症予防に繋がる日常生活の中での工夫や予防体操も同時に伝え、地域の中で認知症予防への理解が深まるよう取り組んでいる。



今後の展開

- ・ 県内各市町や関係団体等からの要望に応じて活動の幅を広げたい
- ・ 認知症サポーター養成講座事業も実施市町を広げたい
- ・ 認知症アップデート研修は実践的な研修内容を多く取り入れて実施したい